

イーファスの活用例

(1.4)

イーファスを活用した施術は、一般的なリラクゼーションとの違いを印象付けやすいので、従来の施術に組み合わせることで先生の独自性や専門性を高め、先生および治療院の価値を高めるように役立ててください。

施術メニューの作成や料金設定の参考資料として「シーアイエム松村整体」の施術メニューを添付させていただきます。

[イーファス施術の特徴]

- ・一人一人の体の動きを検査・分析して行うオーダーメイドな施術である
- ・分析にはエキスパート型 AI による最新式である (1/194 万の分析)
- ・分析結果画面 (施術画面) を見ていただきながら説明できる
- ・姿勢画像の合成比較・並列比較ができる
- ・セルフケア画面を配信できる

※セルフケア配信やカウンセリング資料は独自に作成した資料を設定できます。

[施術支援機能]

機能名		備考
従来の施術		
1. ② 動作検査 + 骨盤検査		
2. ③ 姿勢分析		合成比較・並列比較
3. ④ 緊張緩和 (FA3)		
4. ⑤ 骨格調整	リバーズ表示	アクチベータ
	ダイレクト表示	ポータブル D
	三角ブロック	三角ブロック
	骨盤ケア	セルフケア用画面
5. ⑥ アスリート	ストレッチ	
	テーピング	伸縮テープ ※トワテックのキネシオロジーテープ推奨

6. ⑦ 鍼灸（局所）	
7. ⑧ 対象筋表示（筋・筋膜）	徒手 または 電気治療
8. ⑨ 筋線維滑走性改善（FA4）	運動療法
9. ⑩ セルフケア配信	

[姿勢分析機能の活用目的]

一つ目は、よりしっかりと**根本施術の必要性を納得していただく**ことで、
二つ目は**健康管理の患者様を増やす**ことで、症状が改善した後の『姿勢管理（不良姿勢のリセット）』として、**定期的に通院される患者様を増やす**ためにご活用してください。

また姿勢評価をしたときは、施術後に iPad の画面収録機能で**合成評価のショート動画**を作成し、アドバイスのメッセージを付けて LINE で送ってあげると**ロコミ（紹介）のきっかけ**になります。

※ショート動画に添付する資料（画像）をサポート [導入説明→②骨格調整による姿勢矯正の中] に掲載しています。

[姿勢分析のタイミング]

①初診時 または 症状半減時

基本的には初検時の施術前後の姿勢を比較評価して、2回目以降の最適なメニューと数回の計画的な施術を提案します。

ただし、急性症状が強すぎる時は、初検時の施術前の姿勢だけを撮影しておき、数回後症状が半減してきた時に施術後の姿勢を撮影し、初検時の施術前の姿勢画像と比較評価しています。

②症状がほぼ消失してきたタイミング

健康管理を目的とした定期的な施術の重要性を納得していただくために行います。比較する画像は、初検時の施術前と当日の施術後、もしくは当日の施術前後の姿勢です。

③イーファス導入時の既存患者様

不良姿勢のチェックを提案し、実施する日は「姿勢施術」だけを受けてもらって比較評価してください。同時に症状改善のための施術を受けられる方の場合、まず姿勢施術を受けていただき、合成比較をした後に症状改善の施術をしてあげてください。

姿勢施術は、④緊張緩和 FA3 と⑤骨格調整のみを行います。

シンプルな施術でも十分に効果があることを納得していただいて、症状が改善してから定期的にも調整されることを提案しておきましょう。

----- 姿勢施術の流れ（健康管理移行期） -----

1. 施術前の姿勢撮影 → 動作検査 → 骨盤検査
2. ④緊張緩和 FA3 と ⑤骨格調整（アクチ + ポータブル）
3. 施術後の姿勢撮影 → 合成比較・評価

[症状程度に応じたイーファスの施術方法]

症状	施術内容	施術間隔
急性期	○: ④緊張緩和 ○: ⑤骨盤・脊柱 ※リハース（アクチ） ○: ⑥アスリート・テープ ○: ⑦鍼（局所） △: ⑧筋・筋膜 ※FA-2（TL）で局所以外を特定 △: ⑨FA4 運動療法（筋線維滑走性改善）	1～2回/週
慢性期 健康管理	○: ④緊張緩和 ○: ⑤骨盤・脊柱 ※リハース（アクチ） or ダイレクト △: ⑥アスリート・テープ △: ⑦鍼（局所）※刺鍼方法によっては○ ○: ⑧筋・筋膜 ※FA-2（TL）を行わずに全体的 ○: ⑨FA4 運動療法（筋線維滑走性改善）	1～2回/月